

# 高次脳機能障害 生活の大変さ指標

参考資料

この指標は高次脳機能障害の状態について、項目ごとに大まかに捉える事ができる指標（内容は参考例としての一例）です。高次脳機能障害は広範にわたる事も多く、項目別に障害程度を整理して、ご本人・ご家族の今後の支援に役立てていただくために確認するものです。指標については、下記の視点を参考に、チェックしてみてください。

- (1)『環境調整・代償手段』 多少うまくいかないことがあっても、自分で工夫したり、環境を整えておくことでひとりで行える場合
- (2)『見守り・声かけ』 確実に行うためには、周囲からの確認や声かけが必要な場合
- (3)『手助け』 周囲の人が行動を共にしたり、具体的なやり方を示すなど、言葉以外の直接的な手助けや配慮が必要な場合
- (4)『評価・支援検討』 現在、適切な支援方法が見つかっていないため、行動観察等を通して再評価したり、支援方法を再度検討することが必要な場合

項目	内容	指標					
		(0)問題なし	(1)環境調整・代償手段	(2)見守り・声かけ	(3)手助け	(4)評価・支援検討	
注意	①選択的注意	周りの音や声に注意が散ることなく作業できる	周囲に影響されず集中できる	ヘッドホン使用や間仕切りをすれば集中できる	名前を呼んだり、今すべき事を伝えれば集中できる	1対1で話をしたり、一緒に同じ作業を行えば集中できる	周囲が気になって集中しにくい
	②持続的注意	ひとつのことに長く集中して取り組める	集中力を持続できる	興味関心のある作業や一人になれる空間・静かな空間を設定すれば続けて集中できる	周囲に気をとられても、促しや声かけで集中を持続できる	一緒に作業をしながら声かけを行えば集中を持続できる	じっと座っていることや集中できる時間は限られる
	③注意の分配	複数のことに同時に注意を向けて作業することができる	同時作業ができる	手順書を見ながら取り組んだり、下準備(順番通りに並べておく等)があればできる	1つの事に集中しやすいが、声かけで他へも注意を向けられる	一緒に作業をしながらその都度注意を促せばできる	同時作業をすると混乱してしまう
	④注意の転換	ひとつのことから他のことへ切り替えることができる	(ゲーム等に熱中していても)必要に応じて切り替えられる	アラームやタイマーを用いれば切り替えられる	名前を呼んだり、今すべき事を伝えれば切り替えられる	対象物を片付けたり、次に必要な物を提示すれば切り替えられる	一つの事に没頭し、切り替えにくい
	⑤半側空間無視	片側の物や空間を見落とさずに作業することができる	片側を見落とすことはない	非無視側の余分な刺激を減らしたり、無視側への意識を促す手がかりや印を付けたりする事で見落とさない	無視の自覚促進や端まで見るよう声かけすれば見落とさない	非無視側から次第に無視側へ移行して声をかけたり、指差して端を示す等、常に手助けが必要	見落とさないよう促しても難しい
記憶	⑥短期記憶	話したことや言われたことをしばらく覚えていられる	覚えておく事ができる	自らメモなどを使って確認できる	内容確認の声かけをしたり、メモを見るよう促せば対応できる	その都度指示を伝えたり、メモを提示する事が必要	指示とは異なる事をするなど、覚えておくことが難しい
	⑦長期記憶	最近の出来事や食事の内容などを思い出すことができる	何を見ずとも思い出せる	メモリーノートやメモ、写メを見て思い出せたり、確認できる	メモの確認を促せば思い出せたり、確認できる	一緒にメモなどを確認することが必要	一緒にメモなどを見ても確認できない
	⑧展望記憶	頼まれたことや予定・約束を覚えておくことができる	覚えておく事ができる	スケジュール帳やメモ、アラーム等を用いて予定管理できる	メモの確認を促したり、予定の前日に声をかけておけばできる	直前の確認が必要	直前の確認があっても、予定・約束を間違えることが多い

項目	内容	指標					
		(0)問題なし	(1)環境調整・代償手段	(2)見守り・声かけ	(3)手助け	(4)評価・支援検討	
遂行機能	⑨計画の立案	毎日の予定をたてられる	立てられる	1日の行動をリストアップすれば立てられる	優先順位を指示すれば立てられる	一緒に予定を立てる事が必要	予定を立てる事が難しい
	⑩計画の実行	外出前の準備や料理などを段取りよく進めることができる	問題なく実行できる	メモやタイマー等の補助手段を用いれば実行できる	次の行動を指示すれば実行できる	次の行動を一緒に行う事が必要	段取りよく進める事が難しい
	⑪効率的な行動	急な予定変更に対応することができる	臨機応変に対応できる	相談やメモなど変更時の対応をルール化しておけば対応できる	次の行動を指示すれば対応できる	必要な行動を一緒に行う事が必要	変更への対応が難しい
	⑫判断	困ったときに誰かに相談することができる	自ら相談できる	誰に相談するか決めておけば、困った時に相談できる	周りからの声かけなどきっかけがあれば困っている事を相談できる	周囲が状況確認することで、困っている事を自覚し、相談できる	手助けしても相談することが難しい
社会的行動・感情	⑬自発性	自発的に行動できる	自発的に行動できる	スケジュール表や予定チェックリスト等を使用すれば行動できる	声かけがあれば行動できる	スケジュール表等の確認や行動を一緒にする事が必要	手助けしても行動する事が難しい
	⑭意欲	日中横にならずに過ごせる	横にならずに過ごせる	好きなことや役割があれば横にならずに過ごせる	声かけがあれば横にならずに過ごせる	一緒に作業をする事が必要	横にならずに過ごす事が難しい
	⑮依存性	自分でできることを依存せずにできる	依存せずに自分でできる	本人のやりやすい環境に調整する事でできる	本人の行動を客観的に伝え、自覚を促す声かけがあればできる	見本を提示したり、一緒に作業すればできる	依存傾向が強く、自分でできることを行おうとしない
	⑯易怒性	イライラせず、精神的に安定して過ごせる	安定して過ごせる	対象を避けたり、その場から離れたり、事前に対応を決めておけば安定して過ごせる	自覚の促し、他の話題や退席して気分転換を勧める等で安定して過ごせる	一緒に気分転換を図ることで安定して過ごせる	気分転換を試みてもイライラしやすい
	⑰易怒性	暴言や暴力がない	暴言や暴力がない	怒りの対象や状況が避けられるよう配慮すれば暴言・暴力を回避できる	他の話題や退席して気分転換を勧める等で暴言・暴力を回避できる	本人と共に一旦その場から離れ、一緒に気分転換を図る事が必要	手助けをしても暴言や暴力がある
	⑱固執	生活や周りの人が困るほどのこだわりがない	支障が出るほどのこだわりがない	あらかじめ本人と妥協点を探り、ルールを設定すれば支障はない	切り換えを促す声かけにより支障はない	話題を変えたり、一緒に別のことに取り組むことなどが必要	こだわりが強く、生活に支障が出たり、周りの人が対応するのが難しい
⑲欲求コントロール	欲求をコントロールできる	欲求をコントロールできる	対象のものが目に入らないようにしたり、ルールを設けたりすることによりコントロールできる	自覚の促しや声かけによりコントロールできる	欲求コントロール困難が予測される時には指摘や制止が必要	制止してもコントロールが難しい	

項目	内容	指標					
		(0)問題なし	(1)環境調整・代償手段	(2)見守り・声かけ	(3)手助け	(4)評価・支援検討	
社会的行動・感情	⑳独善性	考え方に合わない人を責めたり攻撃することがない	自分の考え方と違って許容できる	対象との同席をしない事や本人も関わらないよう留意する事で回避できる	状況説明や自覚の促しにより回避できる	制止したり、一緒にその場から離れたりすることが必要	手助けしても回避が難しい
	㉑易疲労性	活動時の疲労感、作業継続性について	問題なし	短時間作業、作業内容の単純化などで疲労感を軽減できる、自分で疲労を訴えることができる	休憩のための適宜の声掛けが必要、疲労感を訴えることはできる	自ら疲労感の訴えがないため、支援者の声掛けが欠かせない	疲労感が強く、決められた作業に参加できないこともある、もしくは参加できない
コミュニケーション	㉒疎通性	その場に適切な言動をとることができる	適切な言動がとれる	事前の約束事で適切な言動がとれる	不適切な言動が予測される時に声かけが必要	不適切な言動を制止したり、軌道修正したりすることが必要	手助けがあってもその場に不適切な言動をとりやすい
	㉓一貫性	会話の文脈や目的に沿った話をすることができる	会話の文脈や目的に沿った話をすることができる	短く分かりやすい会話をおこなえば文脈に沿える	会話のずれを伝えることで自ら修正できる	会話の文脈や目的を繰り返し伝え修正することが必要	手助けがあっても会話の文脈からずれやすい
	㉔理解(失語)	相手が言っていることを理解することができる	理解できる	短くゆっくり伝えたり、絵や文字を見て補うことで理解できる	本人の理解を確認しながら再度説明すれば理解できる	実際にやり方を見せたり、その場所へ一緒に行ったりするなどが必要	手助けがあっても理解が難しい
	㉕表出(失語)	自分の言いたいことを相手に伝えられる	伝えられる	急がない環境や短い筆記を加えることで伝えられる	正しい表現は難しいが、聞き手が内容を確認して推測できる	選択肢の提示等の手助けが必要	手助けがあっても伝えるのが難しい
日常生活能力	㉖適切な食事	配膳などの準備も含めて適量をバランスよく摂ることがほぼできる	できる	自発的にできるが時には助言や指導を必要とする		自発的かつ適正に行うことはできないが助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない
	㉗身の清潔保持	洗面、洗髪、入浴等の身の衛生保持や着替え等ができる、自室の清掃や片付けができる	できる	自発的にできるが時には助言や指導を必要とする		自発的かつ適正に行うことはできないが助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない
	㉘金銭管理と買い物	金銭を独力で適切に管理し、やりくりがほぼできる、一人で買い物が可能であり計画的な買い物がほぼできる	できる	おおむねできるが時には助言や指導を必要とする		助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない
	㉙通院と服薬	定期的に通院や服薬を行い、病状等を主治医に伝えることができる	できる	おおむねできるが時には助言や指導を必要とする		助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない
	㉚対人関係	他人の話を聞く、自分の意思を相手に伝える、集団的行動が行える	できる	おおむねできるが時には助言や指導を必要とする		助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない

項目	内容	指標					
		(0)問題なし	(1)環境調整・代償手段	(2)見守り・声かけ	(3)手助け	(4)評価・支援検討	
日常生活能力	⑳ 身辺の安全保持	事故等の危険から身を守る能力がある、通常と異なる事態となった時に他人に援助を求めるなど適正に対応できる	できる	おおむねできるが時には助言や指導を必要とする		助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない
	㉑ 社会性	銀行での金銭の出し入れや公共施設等の利用が一人で可能、また社会生活に必要な手続きが行える	できる	おおむねできるが時には助言や指導を必要とする		助言や指導があればできる	助言や指導をしてもできない若しくは行わない
他	㉒ 見当識	今日の日付・時間・季節・場所がわかる	自分で把握できている	カレンダーや時計、携帯等で自ら確認できる	時計等の手がかりを見るよう促せば確認できる	その都度、日付や時間を伝える事が必要	その都度、伝えても把握しにくい
	㉓ 気づき	自分の障害の内容を理解している	(障害理解について、気づきの程度や障害受容の側面も考慮しながら記入してください。下記参照)				

※下記は、気づきや障害受容の参考資料です。必ずしもこの通りにすすむものではありません。  
長い時間をかけて、行きつ戻りつしながらすすんでいくことを考慮しながら参考にしてください。

(参考:気づき)

気づき無し (障害に全く気づいていない)	知的気づき (言葉や症状を知識として知っている)	体験的気づき (体験と知識が結びつき、障害を実感できている)	予測的気づき (障害を理解し、問題が起きないように予測して行動できている)
-------------------------	-----------------------------	-----------------------------------	--

(参考:障害受容)

